

あいちの印刷

8

2019.8
No.573



森川花はす田（立田ふれあいの里・愛西市森川町）

もくじ

- 巻頭言「タダより高い物はない」 3
- 愛印工組・7月期理事会
次期役員推薦委員を承認 4
- 愛知県内の工業(従業員4人以上の事業所)～平成30年工業統計調査結果～
製造品出荷額41年連続全国1位 6
- 身近な催し物のお知らせ 7
- 全印工連／中部地区印刷協議会上期会議(岐阜県会議)
令和元年事業計画「Happy Industry」のもと、
各事業を展開 8
- 「はばたく中小企業・小規模事業者300社」
印刷産業から5社選定 10
- 愛印工組MUDセミナーより
視覚情報のユニバーサルデザイン 12
- お知らせ
「永年勤続優良従業員」募集案内 13
- 中小企業が中小企業施策を利用する際の手引書
「中小企業施策利用ガイドブック」 13
- 「第10回ポスターグランプリ」作品募集 14
- 編集だより 14

人に 社会に 想いを カタチに

O//O 愛知県印刷工業組合

FUJIFILM
Value from Innovation

成長は、「省資源」から。

もっと強く、もっと付加価値の高い印刷ビジネスを実現するために
富士フィルムは提案します—— 成長は、「省資源」から。

材料・工数・水・エネルギー・排出、
これまでの「コスト」を減らし利益に還元。

製版・印刷工程を軸にした、
独自のソリューション「FUJIFILM SUPERIA」が
あなたの会社をどこよりも強いものへ変えていきます。

**FFGSは、戦略的『省資源』で、
トータルコストダウンを支援いたします。**

FUJIFILM
「減らす」がつくる、クオリティ **SUPERIA**

富士フィルム グローバルグラフィックシステムズ株式会社 中部支社 〒460-8404 名古屋市中区栄一丁目12番17号 富士フィルム名古屋ビル 052(201)8171 [ホームページ http://ffgs.fujifilm.co.jp](http://ffgs.fujifilm.co.jp)



Assist Your Potential

— 技術力と創造力で、あなたの可能性を支援する —

日ごとに厳しさを増す、短納期ニーズや品質管理要求に応える印刷の現場。

RMGTの自動化・省力化技術は人を助け、時間と労力を費やす作業を代行します。

そこで生まれる余力こそ、創造性を発揮するエネルギー。

RMGTは、技術力と創造力で、印刷会社それぞれが強みを発揮できるように、アシストしていきます。

そして、人が中心になって機械や技術を使いこなす世界を目指します。



ともに、世界へ彩りを。

リョービMHIグラフィックテクノロジー株式会社

中日本支社 〒468-0034 愛知県名古屋市天白区久方 1-145-1 TEL 052-807-1671

<http://www.ryobi-group.co.jp/graphic/>

優れた安全性と作業効率を実現して eRCシリーズ誕生。



eRC
SERIES



ITOTEC

イトテック株式会社

最新情報はインターネットで www.itotec.co.jp

Photo: eRC115DX

本社 愛知県犬山市舟田10-4 TEL 0568-67-5311 FAX 0568-68-0495 〒484-0912
東京支店 東京都板橋区中台1-31-1 TEL 03-5920-2161 FAX 03-5920-2171 〒174-0064
大阪支店 大阪府市荒本新町3-2-9 TEL 06-6618-5335 FAX 06-6618-5337 〒577-0022
四国営業所 愛媛県四国中央市新宮町上山3307 TEL 0896-72-2020 FAX 0896-72-2050 〒799-0302

福岡サービスセンター 福岡市東区箱崎ふ頭6-1-6 TEL 092-651-6031 FAX 092-631-1746 〒812-0051
札幌サービスセンター 札幌市中央区北一条西18-1 TEL 011-611-7221 FAX 011-611-7224 〒060-0001
新潟サービスセンター 新潟市横越中央1-11-10 TEL 025-385-2059 FAX 025-385-3701 〒950-0208
仙台サービスセンター 仙台市宮城野区岡田浦通1-132-7 TEL 022-258-1758 FAX 022-258-1793 〒983-0003

巻頭言

「タダより高い物はない」

経営革新委員長 野々村 昌彦

「タダより高い物はない」という諺がある。これは、一時的には無償であっても、あとで相応の対価を払うことになってしまう、という戒めである。なぜこんな諺を思い出したかという、印刷業界とネット情報の違いが、ここにあるのではないかと思ったからである。

印刷業界が提供する情報とネット情報の違いは何だろう。我々印刷業界が代金を頂き情報を提供する場合、情報の正確さが必須である。それはその後の信頼につながるわけであり、誤差さえも認められない。これに対して、ネット上で交わされる情報は、同時性、即時性の点で優れていながらも、「フェイクニュース」のような誤報によって混乱さえ生んでしまうことがある。情報提供者がウソの情報を垂れ流しても、よほど悪質でない限りは責任が問われない。だがその情報に振り回された側は、それを信じたために高い代償を払う。この場合損をするのは消費者であり、まさにタダより高い物はないと実感することになる。

情報の精確さを売りにしているのが新聞やテレビである。両者は社会に対して精確な情報を提供する役割を長年果たしてきた。だが最近、新聞読者数とテレビ視聴者数が同時に減少している。新聞は2011年以降すべての主要新聞の発行部数が横ば

い、あるいは減少傾向にある。新聞を読まない世代はネットで情報を収集し、ネットで買い物をするのが当たり前の生活になっている。こうした購買行動は、確かに効率的になったといえる。

したがって、営業のために「足で稼ぐ」仕事は、ネットで情報を交換する世代にとっては「効率の悪い昔話」に過ぎないかもしれない。人口減少に伴う業務の簡便化は急務だが、顔の見えない営業は、どのような人間関係を生むのだろうか？

あるいは、仕事はネットに任せて、自由な時間でもより個人的な人間関係を豊かに育むようになるのだろうか。

テレビの状況も同じで、同時的な情報はネットで確認できる。また、フェイクニュースも含めて、様々な情報が得られる点は否定できない。令和時代とは、平成で起こったメディアの変化にさらに拍車がかかる時代になるのは間違いない。紙の値段の高騰や紙媒体の削減などを背景に、印刷業界は大きく変化するだろう。しかし、だからこそ、

タダより高い物はない、の逆を進み極めるのも一つの道。少々高く、いい品を届けることができれば、信頼という値段のつかない価値を得ることはできるのではないか。

TOYO INK

生活文化創造企業

あなたが企業に求めるものは何ですか？私たちはモノ作りの会社として、先端の技術、最高の製品と品質、そしてまた、さまざまな企業活動を通じて、あらゆる人々に“満足”を届け、しあわせな生活のシーンを支えていくことだと考えます。

私たち東洋インキグループは、世界にひろがる「生活文化創造企業」を目指します。

東洋インキ株式会社

中部支社 〒460-0002 名古屋市中区丸の内1-15-20 ie丸の内ビルディング12F Tel:052-218-7460

www.toyoink.co.jp

次期役員推薦委員を承認

旅費規定、総会出席旅費 会議室利用料金など見直し

7月理事会で挨拶をする
細井理事長



愛印工組令和元年度7月期理事会（第2回）が、7月23日15時30分よりメディアージュ愛知3階会議室において開催された。理事会では、次期役員推薦会議、全印工連旅費規程改定、総会出席旅費、各委員会事業、各支部活動、中部地区印刷協議会上期会議などが審議、報告された。また、新年互例会参加費と会議室利用料金見直しなども取り上げられ審議された（出席者23名）。

役員推薦会議 委員長・委員ら11名が決まる

理事会は、丹羽邦夫専務理事の司会進行で進められ、冒頭、挨拶に立った細井俊男理事長は次のように述べた。

「相変わらず印刷需要は厳しい状況にあるが、ネット関係で若干の需要があるようだ。金山の駅前で“住宅のモデルルームを見に来てくれませんか”と、声掛けをしていた人がいた。滅茶苦茶アナログである。しかし、声を掛けられ実際に見に行くと、そこで夢と現実が繋がっていく。狭くてもお洒落な建物で通勤が近ければいい、というのが、今どきの若い世代の人たちの購入意欲である。これなど、ネットに無い宣伝の仕方である。デジタルばかりを追うのではなく、アナログも大事にしていかなければいけない。印刷物も、いろいろな出し方や相手の意欲をわかせる、創造力を生む切っ掛けを創ることができれば生きていける。

8月は暑くなって稼働時間も少なくなる。俗にいう二八の月で、厳しいかも知れないが、その分、社内の改革ができるときでもある。改革をして、新しい戦略をつくり、商売が繁栄できれば良いと思う」。

次いで、細井理事長を議長に議案審議に入った。

①組合員数の件

組合員の加入・脱退はなく、増減はなし。

②次期（令和2・3年度）役員推薦会議の件

今後の会議の日程と委員候補が発表され承認された。委員の方々は次の通り（敬称略）。

●委員長：木野瀬吉孝（木野瀬印刷㈱）

●委員：関谷和宏（不二印刷工業㈱）、江口豊隆（江口印刷㈱）、田中賢二（神田印刷工業㈱）、野々村昌彦（㈱サクラ印刷）、富田章裕（㈱向文堂）、渡邊茂央（㈱平和堂）、森俊一郎（モリ印刷㈱）、吉川正敏（㈱ヨシノ印刷）、森亨（豊陽印刷㈱）、水野順也（㈱水野印刷工芸）

③旅費規程改定の件

現行では、全印工連の役員会・委員会などに出席する場合の旅費は支給されていなかった。今回これが改定され、新たな出張旅費規定が成立した。

【旅費規程】

●東京で開催される全印工連会議の出席旅費…上限15,000円

●近畿地区で開催される全印工連会議の出席旅費…上限10,000円

●上記より遠方で開催される全印工連会議の出席旅費…上限20,000円

●開催地までの公共交通機関の旅費の実費が上記を下回る場合は、実費を支給する。

●中部地区印刷協議会の出席旅費は、名古屋駅から開催地までの公共交通機関の料金（実費）を支給する。

●ただし、全印工連またはその他の機関などから旅費を支給される場合は、当組合からは支給しない。

④通常総会の出席旅費の件

現行では、出席者全員に組合の旅費規定に準ずる金額を支給している。支給額は、名古屋市内支部の方1,000円、知多・西尾張・東尾張支部の方2,400円、岡崎・西尾支部の方2,500円、東三河支部の方4,000円。今回の改定で、これら旅費支給は廃止されることになった。

消費税増税で 新年互例会参加費値上げ

⑤各委員会事業の件

各委員会事業報告は、それぞれの担当委員が行なった（事業内容については別項参照）。

三役直轄事業・ポスターグランプリ：細井理事長／ゴルフコンペ：木村吉伸副理事長／ブランディング委員会：荒川壮一委員長／CSR・ダイバーシティ委員会：酒井良輔副理事長／経営革新委員会：野々村昌彦委員長／マーケティング・人材育成委員会：久野彰彦委員長／教育委員会：磯貝健委員長／労務・新人教育委員会：堀裕史委員長／組織・共済委員会：松本高武委員長

⑥支部活動の件

支部活動報告は、支部長から報告が行なわれた。（西支部、西尾支部は欠席）

東北支部：前崎正太郎支部長／中村支部：北川毅支部長／中支部：江口豊隆支部長／熱田支部：鬼頭則夫支部長／東南支部：田中賢二支部長／知多支部：酒井良輔副理事長／西尾張支部：森俊一郎支部長／東尾張支部：加藤義章支部長／岡崎支部：岡田邦義支部長／東三河支部：森亨支部長

⑦報告事項及び連絡事項

新年互例会参加費見直しの件では、消費税増税に伴い下記のごとく値上げが決められた。

【講演会と祝賀会】組合員13,000円→15,000円、組合員外16,000円→20,000円(消費税込み)

【講演会のみ】組合員3,000円、組合員外5,000円(据え置き／消費税込み)

さらに、消費税増税に伴い、メディアージュ愛知3階会議室利用料金見直しの件が取り上げられ、10月1日からの値上げが決まった(新利用料金は別項に掲載)。

次いで、岐阜県で開催された中部地区印刷協議会上期会議の報告に移り、各分科会活動が詳報された(別項8・9ページ参照)。さらに、全日本印刷産業政治連盟(全印政連)への加入について、細井理事長から説明が行なわれ、「加入への協力」が要請された。

なお、次回理事会は10月31日15時30分よりメディアージュ愛知3階会議室で開催される。

【主な実施事業】

●第10回ポスターグランプリ=テーマ「輪」、審査委員会9月20日(金)、作品展10月29日(火)～11月4日(月)愛知県美術館8階ギャラリー展示室D、表彰式11月2日(土)愛知芸術文化センター 12階アトスペースA

●親睦ゴルフコンペ=9月18日(水)、セントクリークゴルフクラブ

●ブランディングセミナー=9月26日(木)18時30分～20時、栄ガスビルキングルーム、講師：小澤歩氏(㈱グレイズ代表取締役)

●中小企業経営者と学生との

交流会(愛知県就業促進課主催事業)=11月15日(金)15時～18時、中京大学

●JPPS更新講習会(既に認定を取得している企業対象)=9月6日(金)13時30分～15時30分、メディアージュ愛知、講師：金子一美氏SME Support代表

●環境推進工場登録更新講習会(既に登録している企業対象)=9月12日(木)13時～17時、メディアージュ愛知、講師：寺田勝昭氏P&Eマネジメント代表

●経営セミナー「急変する日本社会と反映した日本」=9月10日(火)18時30分～20時、ウイंकあいち、講師：武田邦彦氏中部大学特任教授

●印刷の後加工セミナー「製本現場から見た製本加工の変化と製本会社の役割」=8月30日(金)18時30分～20時30分、メディアージュ愛知、講師：中澤美郎氏(㈱渋谷文泉閣営業部課長代理)

●印刷技能検定オフセット印刷作業【学科試験対策学習会】=8月24日(土)13時～17時、メディアージュ愛知、講師：1級古田正宏氏、2級高木茂男氏

●印刷営業講座及び印刷営業技能審査認定試験=10月4日(金)、5日(土)、11日(金)、12日(土)、メディアージュ愛知

●断裁機取扱者特別教育「実技教育」=9月7日(土)、13時～16時、名古屋紙商事(株)小牧配送センター

●永年勤続優良従業員表彰=11月1日(金)、各事業所、表彰①愛知県知事表彰、②全印工連会長・愛印工組理事長表彰

●令和2年度新年互例会=令和2年1月15日(水)、新春講演会15時30分～、新年互例会17時20分～、名古屋観光ホテル

メディアージュ愛知3階会議室利用料金

(単位：円)

利用区分	一般	組合員A	組合員B
午前 (9:00-12:00)	8,000 6,000	5,000 4,000	5,000 4,000
午後 (13:00-17:00)	10,000 8,000	7,000 6,000	7,000 6,000
夜間 (18:00-21:00)	(利用不可)	5,000 4,000	7,000 6,000
午前・午後 (9:00-17:00)	14,000 10,000	10,000 8,000	10,000 8,000
午前・午後・夜間 (9:00-21:00)	(利用不可)	14,000 12,000	15,000 13,000

組合員Aには、組合員、名古屋而立会及び会館入居テナント、組合員Bには、賛助会員、日本印刷学会中部支部及び愛知県印刷産業団体連絡会の会員団体の利用を含む。ただし、名古屋而立会の利用で組合に関する事業の場合は無料とする。



KONICA MINOLTA



Giving Shape to Ideas

スキルレスオペレーションを実現する
プロダクション印刷システム

インテリジェントクオリティオブティマイザー[IQ-501]^{*1}により、色管理・表裏見当調整を自動化。印刷中も高品質を保つリアルタイム監視・補正機能や自動プロファイル作成機能、さらにリアルタイム自動検品機能^{*2}も備え、スキルレスかつ最小限の工数で高品質な印刷物を安定提供できます。

Less human touch & Less human error



AccurioPress
C3080/C3080P/C3070

*1: オプション *2: IQ-501の他に追加でオプションが必要です。
*写真はC3080にオプションを装着したものです。

コニカミノルタ ジャパン株式会社

PPG営業統括部
西日本営業統括部 営業1部

〒460-0008 名古屋市中区栄2-9-15 三井住友海上名古屋しらかわビル11F
TEL.052-229-4624 <http://konicaminolta.jp/pr/odp>

■愛知県内の工業(従業員4人以上の事業所)～平成30年工業統計調査結果～

製造品出荷額41年連続全国1位

印刷・同関連産業の製造品出価額3,228億円

愛知県県民文化局県民生活部統計課では、平成30年工業統計調査結果(確報)から愛知県集計(従業員4人以上の事業所)を行ない公表した。それによると、製造品出価額、付加価値額、従業者数が全国1位、事業所数は大阪について2位になった。

調査結果は、統計課ホームページ「Web統計あいち」で検索ができる。

■事業所数は2年連続減少

愛知県下における事業者数は、1万5,576事業所(前年比294事業所減)となり、2年連続の減少となった(全国2位)。

業種別では、金属製品が2,189事業所と最も多く、次いで、生産用機械2,172事業所、輸送機械1,741事業所、プラスチック1,420事業所、食料品1,160事業所の順になった。

前年に比べ、増加した業種は、電気機械6事業所増、情報通信機械6事業所増、はん用機械5事業所増など6業種。一方、減少した業種は、繊維57事業所減、印刷業と生産用機械37事業所減など18業種が減少している。

■従業者数は5年連続増加

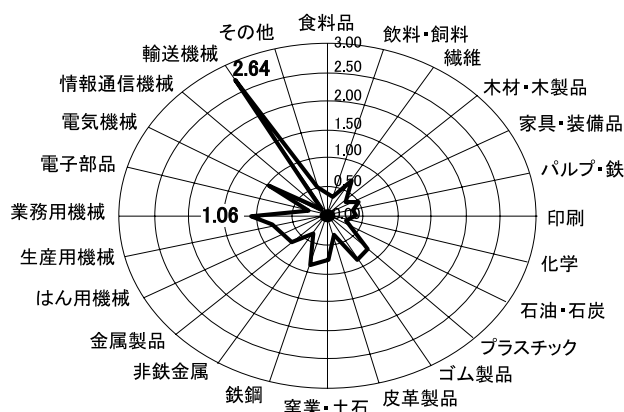
従業者数は84万6,075人(前年比1万7,998人増)となり5年連続の増加となった(全国1位)。1事業所当たりの従業者数は、県平均で54.3人と全国平均40.9人を13.4人上回っている。

これを業種別にみると、輸送機械が32万7,581人と最も多く、次いで、生産用機械6万7,847人、食料品6万4,398人、金属製品5万5,276人、プラスチック5万4,981人の順。

前年に比べ増加した業種は、輸送機械1万1,627人増、電気機械2,240人増、食料品1,806人増など12業種。一方、減少した業種は、繊維568人減、業務用機械414人減、情報通信機械318人減など12業種。

■製造品出荷額等は2年ぶり増加

製造品出荷額等は46兆9,681億円[前年比2兆591億円増(+4.6%)]となり、2年ぶりの増加となった(全国1位)。



愛知県の製造品出荷額等の産業分類特化係数
(特化係数が1.00のときは全国の構成比と同じになり、1を超えて数値が大きくなるほど、その産業の比重が高いとを示している)

業種別では、輸送機械が26兆4,731億円と最も大きく、次いで、鉄鋼2兆3,223億円、生産用機械2兆2,535億円、電気機械2兆2,498億円、食料品1兆6,514億円の順。

前年に比べ増加した業種は、輸送機械1兆2,706億円増、鉄鋼2,828億円増、生産用機械1,704億円増など15業種。一方、減少した業種は、業務用機械387億円減、プラスチック236億円減、電子部品152億円減など9業種。

■1事業所当たりの製造品出荷額等は、29億9,712万円となり、前年に比べ1億9,862万円の増加となった。

これを業種別にみると、輸送機械が152億9,724万円(前年差7億9,418万円増)と最も大きく、次いで石油・石炭146億4,730万円(同52億4,516万円増)、化学55億9,900万円(同2億4,421万円増)など8業種が、県平均29億9,712万円を上回った。一方、家具・装備品は3億5,884万円(同402万円増)、繊維3億8,743万円(同3,301万円増)、印刷4億8,100万円(同1,162万円増)など16業種が県平均を下回った。

■従業者1人当たりの製造品出荷額等は5,518万円とな

順位	事業所数			従業者数			製造品出荷額等			付加価値額		
	都道府県	(事業所)	構成比(%)	都道府県	(人)	構成比(%)	都道府県	(百万円)	構成比(%)	都道府県	(百万円)	構成比(%)
1	大阪	15,784	8.4	愛知	846,075	11.0	愛知	46,968,055	14.7	愛知	13,641,585	13.2
2	愛知	15,576	8.3	大阪	443,034	5.8	神奈川	17,956,427	5.6	静岡	5,976,818	5.8
3	埼玉	10,902	5.8	静岡	405,154	5.3	大阪	16,995,712	5.3	大阪	5,674,421	5.5
4	東京	10,322	5.5	埼玉	396,691	5.2	静岡	16,787,113	5.3	神奈川	5,310,488	5.1
5	静岡	9,138	4.9	兵庫	361,956	4.7	兵庫	15,665,881	4.9	兵庫	4,977,699	4.8
6	兵庫	7,798	4.1	神奈川	359,025	4.7	埼玉	13,507,456	4.2	埼玉	4,787,925	4.6
7	神奈川	7,604	4.0	茨城	271,055	3.5	茨城	12,279,488	3.8	茨城	4,363,123	4.2
8	岐阜	5,621	3.0	東京	251,310	3.3	千葉	12,126,270	3.8	三重	3,407,734	3.3
9	新潟	5,312	2.8	福岡	219,552	2.9	三重	10,503,438	3.3	広島	3,304,321	3.2
10	福岡	5,219	2.8	広島	216,899	2.8	広島	10,171,291	3.2	東京	3,214,457	3.1
全国		188,249	100.0		7,697,321	100.0		319,166,725	100.0		103,534,592	100.0

全国における愛知県工業の位置(従業者4人以上の事業所)

り、前年に比べ154万円増加した。

これを業種別にみると、石油・石炭が5億8,948万円(前年差2億1,402万円増)と最大で、次いで、飲料・飼料8,552万円(同68万円増)、化学8,425万円(同326万円増)など、8業種が県平均5,518万円を上回った。一方、繊維は1,957万円(同115万円増)、皮革製品2,092万円(同456万円増)、印刷2,094万円(同28万円減)など、16業種が県平均を下回った。

■製造品出荷額等を愛知県内の市町村別でみると、豊田市(14兆5,903億円)、名古屋市(3兆4,904億円)、岡崎市(2兆3,453億円)、安城市(2兆2,840億円)、田原市(1兆9,992億円)の順になった。

■付加価値額は2年ぶりの増加

付加価値額は1兆3,416億円(前年比6,663億円増)と、2年ぶりの増加となった。これは全国の付加価値額の13.2%を占め、昭和60年以来33年連続の全国1位である。

業種別にみると、輸送機械が7兆218億円と最も大きく、次いで、生産用機械8,940億円、電気機械7,899億円、金属製品6,038億円、プラスチック5,513億円の順になる。

前年に比べ増加した業種は、輸送機械2,519億円増、石油・石炭1,667億円増、電気機械1,069億円増など9業種。一方、減少した業種は、飲料・飼料116億円減、プラスチック101億円減、電子部品92億円減など12業種。

■従業員1人当たりの付加価値額は、1,612万円となり、前年に比べ45万円の増加となった。

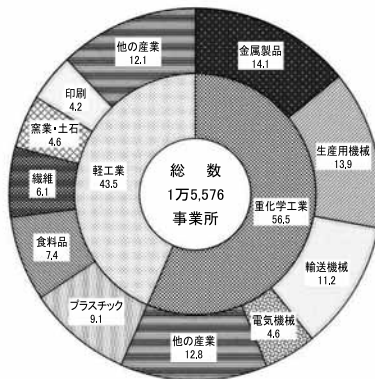
これを業種別にみると、重化学工業に属する業種で主なものは、石油・石炭2億342万円、化学3,054万円、業務用機械2,261万円、輸送機械2,144万円などとなり、一方、軽工業に属する業種で主なものは、飲料・飼料2,896万円、ゴム製品1,364万円、印刷841万円、皮革製品595万円、繊維689万円、家具・装備品779万円などである。

■付加価値額を愛知県内の市町村別でみると、豊田市(3兆8,077億円)、名古屋市(1兆1,913億円)、安城市(7,461億円)、田原市(6,118億円)、岡崎市(5,867億円)の順になっている。

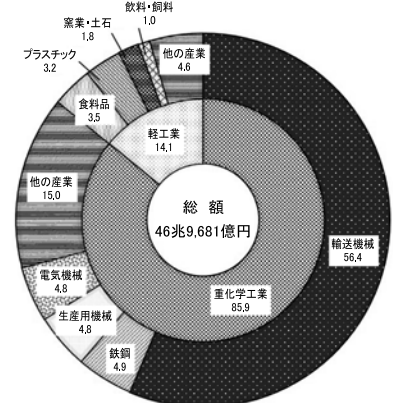
●身近な催し物のお知らせ

令和元年8月10日以降の事業

開催日時	事業・行事、場所、備考
8月30日(金) 18時30分～	事業名 印刷後加工セミナー(マーケティング・人材育成委員会)
	講師 渋谷文泉閣 様
	場所 メディアージュ愛知 3階会議室
	参加費 組合員@1,000円、組合員以外@2,000円
	定員 40名/先着順に受付、定員に達し次第締切ります。
9月6日(金) 13時30分～ 15時30分	事業名 J P P S 更新講習会
	場所 メディアージュ愛知 3階会議室
	備考 既に認定を取得している企業対象
9月7日(土) 13時～	事業名 断裁機取扱者特別教育【実践講習】
	場所 名古屋紙商事(株) 小牧配送センター (西春日井郡豊山町)
	参加費 組合員@8,640円、組合員以外@16,200円(テキスト代 別途)
	備考 定員超過につき締切り済み
9月10日(火) 18時30分～	事業名 経営セミナー(経営革新委員会) 「急変する日本社会と繁栄した日本」
	講師 武田 邦彦 氏/中部大学 特任教授
	場所 ウィンクあいち 1001会議室
	参加費 組合員@4,000円、組合員以外@5,000円
9月12日(木) 13時～17時	事業名 環境推進工場登録更新講習会
	場所 メディアージュ愛知 3階会議室
	備考 既に登録している企業対象
9月18日(水)	事業名 愛印工組組合員および関連業者様 親睦ゴルフコンペ
	場所 セントクリークゴルフクラブ(豊田市)
9月26日(木) 18時30分～	事業名 ブランディングセミナー(ブランディング委員会) 「選ばれて儲かる仕組み作りは、自社アピールから!!」
	講師 小澤 歩 氏/ブランディング・販売コンサルタント (株)グレイス 代表取締役
	場所 栄ガスビル キングルーム
	参加費 ○組合員:一人目@4,000円、二人目以降@2,000円 ○組合員以外:一人目@5,000円、二人目以降@2,000円
	定員 100名/先着順に受付、定員に達し次第締切ります。



事業所数の業種別構成比 (%)



製造品出荷額等の業種別構成比 (%)

四六半裁
OLIVER 480SD/SDP

LED-UV搭載

究極まで追求した
最新テクノロジーを随所に採用し、
更なる高品質・高生産性を実現。

オリバー480SD
四六半裁4色印刷機

大好評! オリバーSD/SDPシリーズ 菊半裁・四六半裁・菊全判の3機種

最高の製品をお届けすることで、
お客様の満足をお約束します

Sakurai
株式会社 桜井クラフティクスシステムズ
<http://www.sakurai-gs.co.jp>

本 社
〒135-0032 東京都江東区福住2-2-9
TEL.(03) 3643-1131 (代) FAX.(03) 3643-1138

中部営業所
〒501-3733 岐阜県美濃市3951
TEL.(0575) 35-2551 (代) FAX.(0575) 35-2881

大阪営業所
〒532-0012 大阪府淀川区木川(東)3-1-31
TEL.(06) 6308-6651 (代) FAX.(06) 6308-6679

九州営業所
〒810-0001 福岡市中央区天神5-5-8
TEL.(092) 741-2672 (代) FAX.(092) 741-2670

岐阜工場
〒501-3733 岐阜県美濃市3951
TEL.(0575) 33-1260 (代) FAX.(0575) 33-3146

ISO 9001:14001 認証取得
生産技術本部



経営革新・マーケティング分科会／出村明委員長



環境・労務分科会／伊藤誠司委員長



組織・共済分科会／須垣貴雄委員

■全印工連／中部地区印刷協議会上期会議(岐阜県会議)

令和元年事業計画「Happy Industry」のもと、各事業を展開

全日本印刷工業組合連合会(全印工連)・中部地区印刷協議会(岐阜県会議)が、6月14日岐阜市の岐阜グランドホテルにおいて、中部5県の印刷工業組合役員と全印工連滝澤光正副会長ら約60名が出席し開催された。席上、令和元年事業計画が報告され、ブランドスローガン「Happy Industry 人々の暮らしを彩り幸せを創る印刷産業」のもと、組合活動活性化への取り組み、働き方改革の啓蒙、魅力ある印刷産業の構築など、令和新時代への展開が示された(全体会議は前号に既報)。今月号では、各分科会の報告を行なう。

【分科会報告】

■経営革新・マーケティング分科会／出村明委員長(石川県工組副理事長)

事業承継における事業承継センターの利用促進において、全印工連全体では50件、中部地区協では5件のノルマが与えられた。1県1社を目標に置く。事業承継のガイドブックが昨年刊行されたが、まだ行き渡っていないところも多々あるので、購入数の少ない県に関しては購入をお願いする。

経営イノベーション事業では、「7Keys, 5Doors」のセミナーを開催しているが、発表当初より時間が経過し、バージョンが上がり内容が濃くなっている。改めて取り組みをお願いする。若い人達を対象にした「勝ち残り合宿ゼミ」を行なう。来年2月に埼玉県戸田にある(株)ウエマツの工場見学を含め実施予定である。

新しく経営革新委員会ではAIを利用した印刷業の取り組み方を研究していくことになり、1年間を掛けて事業を形にしていく。共創ネットワーク通信は、今年度からメーカーやベンダーからの情報提供も行なっていく。

今年度は、新たに「印刷業における下請け適正取引等の推進のためのガイドライン」に取り組み、下請けに対する取引を正常化していく。元請け会社からの無理難題や理不尽な取引が無いよう対策を練って行きたい。不適切な取引で困っていることがあれば、是非、情報を寄せていただきたい。

■環境・労務分科会／伊藤誠司委員長(三重県工組専務理事)

時間外労働の上限規制が大手企業では本年4月から施行されているが、中小企業では来年4月より施行される。時間外労働

の上限は原則、月45時間、年間360時間となる。臨時的に限度時間を超える場合は、36協定に具体的な業務内容の明記が必要となり届出も必要となる。ただし、限度時間を超える場合でも年間720時間以内、時間外労働と休日労働の合計時間が月100時間未満、かつ2～6ヶ月の平均が80時間以内、時間外労働が月45時間超え年6ヶ月限度となる。これまで以上に労働者一人ひとりの労働時間の管理が求められる。

厚生労働大臣の認可公益法人中央労働安全防止協会で、労働災害死傷病者数の減少を目的とした「安全衛生サポート」事業を行なっている。個別支援では、専門家が事業場や作業現場などを訪問し、作業現場の安全状態や作業方法の改善、安全衛生水準の向上のためのアドバイスをを行なってくれる。全て無料なので利用していただきたい。

環境認証は、グリーンプリンティング(GP)、環境推進工場登録、ISO14001取得支援事業(NetEMS)の3つの認証支援を行なっている。環境推進工場登録は、5社以上12社以内で講習会の開催ができる。集まらない場合は隣県組合での共同開催も可能で、比較的取り組み易い制度である。GPを目指す前段階にもなる。また、ISOも安価で通常より短い期間で取得できる。マニュアルや規定保存、一部文書の審査がインターネット上で行なえるので検討していただきたい。

VOC警報器について、使用方法が不明との声が寄せられている。全印工連のホームページから使用マニュアルがダウンロードできるので検索していただきたい。この警報器は、使用期限が2年となっているので確認をお願いしたい。更新、買い替え時に行なったアンケートでは、「導入して良かった」との声が多数寄せられている。従業員の健康を守る上でもVOC警報器の導入をお奨めしたい。

今年度の数値目標で、中部はVOC警報器17台、GP認証2社、環境推進工場登録5社が目標となっている。従業員の健康対策に有効なので是非導入をお願いする。

■組織・共済分科会／須垣貴雄委員(富山県工組副理事長)

組合員の減少が目立ってきている。分科会でも組合員を増やす、あるいは減少させないための方策について協議が行なわれたが、組合への加入促進としては、例えば、印刷関連業者が印刷の業態に進出している会社などがターゲットになる。



教育・研修分科会/
小川優二委員長



取引公正分科会/
飴徹委員長



理事長会/
濱尚理事長

また、各県には支部があるので、支部のメリットを意識したイベントの開催や支部の企業にマッチしたセミナーも開催していく必要がある。

生命共済の促進では、今年度は岐阜県工組と石川県工組が重点工組となる。重点工組では積極的に動いていただきたい。ただ共済事業は、重点工組だけでなく47都道府県全体が取り組むべき事項である。加入については、ターゲットを明確にして、社数より人数を増やすことを重点的に行なっていくべきだと思う。生命共済制度の全国の加入率が35%（現状約30%）が全国目標である。

■教育・研修分科会／小川優二委員長（岐阜県工組副理事長）

平成30年度技能検定プリプレス職種（DTP作業）について、中部地区は、受験者数、合格者数ともに全国的にも見ても常に先頭を走っている。これから先もこの地位を奪われることが無く、しっかり維持をして、模範となるような地区でありたい。印刷営業講座・印刷営業技能審査認定試験については、講師の先生が引っ張りだこで、スケジュールを組むのが難しいということである。しかし、多くのニーズがあるので講師を増員し、多くの会場で実施できる方向で考えていただきたい。講座、試験などについて、開催したいが一定の人数を確保することができず収支が合わない、との県工組がある。こうした事情がある所では、隣県と連携をとりながらメリットを受けることが進められる。

■取引公正化分科会／飴徹委員長（富山県工組副理事長）

昨年11月に各製紙メーカーから一斉値上げの報道があったが、各県、値上げ、紙の品薄、そして再生紙の生産停止について情報交換を行なった。環境省がグリーン購入法の柔軟な対応を促すとの通達で、各県工組とも、県や市に対し説明や要望を行ない、理解を得ている。官公需の再生紙代替品の使用を認めることが進んでいる。日経新聞がこうした問題に対しての記事を掲載しているが、富山県においても、北日本新聞社に依頼し記事を書かせた。値上げや紙の品薄、再生紙問題に関しては、地元の皆さんに理解してもらおう活動を通じて、環境づくりに努めていかななくてはならない。

4月から5月に実施された官公需アンケート調査の結果に関して、各県の状況を確認した。各県とも定期的に年数回の意見交換会を地元の議員の力を借りて行なっている。また、三重県の良い事例として、組合支部で「印刷の手引き」という冊子をつくり、「印刷の仕様書の記載方法について」という仕様書の作成を市から委託を受け作成。それによりトラブルが大変減り、他の市でも同じ仕様書を使いたいということで、

横展開をしていく事例があった。

富山における県や市の仕様書には、未だ不適切なものもある。一方、地道な活動によって改善された仕様書もあり参考に供した。下期会議では、各県の仕様書の事例を持ち寄り、情報共有を行なうことで改善活動の参考にする。

先日、「官公需における知的財産権の取り扱い」の冊子の改訂版が刊行された。内容に関しては、今後、著作権譲渡という形よりもバイ・ドール契約という制度を活用して取り引きをしていくというもので、これに関しては、委員会のメンバーの手元に届き次第、各自治体を回り、説明と要望を出す活動をしていきたい。

※産業技術力強化法第19条（日本版バイ・ドール制度）は、国等の委託研究開発（国立研究開発法人等・大学共同利用機関法人を經由した間接委託を含む）について、開発者のインセンティブを増し、研究開発成果の普及を促進するため、米国のバイ・ドール法を参考として、国等の委託研究開発に関する知的財産権を受託者（民間企業等）に帰属させることを可能としたもの。

■理事長会／濱尚理事長（富山県工組）

組合事業メリット一覧表が各県工組に送られている。ここには、例えば、共済であればこうしたメリット、制度があるという一般的なことが書いてあり、最後に各県工組ごとに、それぞれの会社がどれだけメリットを受けているかが載っている。これを組合加入メリットの議論のツールにしていきたいと思います。これは新規入会のためのツール、また、脱退を止めるためのツールというスタンスもある。

各県工組における活動状況、特に用紙動向については、それぞれで異なる部分はあるが、総じて年度末までは忙しく、紙が無いという状況が続いていた。しかし、ゴールドウィークがあけてから少し落ち着いている。一部の銘柄によってはまだ入手困難が続いている状況である。

その他、石川県工組では印刷会館が新しくなり、8月末に事務所開きをしてスタートする。ポスターグランプリは今回で10回目になる。テーマは「輪」で8月から応募開始をする。このポスターグランプリは東北ブロックが先に行なっており、今年で20回になる。こうした取り組みを各県で行ない、全国大会レベルを行なってはどうかとの意見もある。また、ポスターグランプリ以外に、地元の子供たちや一般の人向けにPRする活動、例えば、夏休みの自由研究に印刷を取り上げてもらい、実際に自分の描いた絵を印刷物にしていく過程を知ってもらい、などの活動ができないかという声もある。

□「はばたく中小企業・小規模事業者300社」

印刷産業から5社選定

ユーメディア／進和ラベル印刷／ウエマツ／大川印刷／
ミヤギパッケージ

「生産性向上」、「需要獲得」、「担い手確保」 3つの分野で評価

中小企業庁は、ITサービス導入や経営資源の有効活用などによる生産性向上、積極的な海外展開やインバウンド需要の取り込み、多様な人材活用や円滑な事業承継など、様々な分野で活躍している中小企業・小規模事業者を「はばたく中小企業・小規模事業者300社」として選定した。300社のうち印刷産業からは、生産性向上分野で(株)ウエマツ(福田浩志社長)、進和ラベル印刷(株)(晋道純一社長)、需要獲得分野で(株)大川印刷(大川哲郎社長)、(株)ミヤギパッケージ(宮城宮城通治社長)、担い手確保分野で(株)ユーメディア(今野均社長)の5社が選ばれた。以下に選定ポイントを紹介する。さらに、詳細はHPページで検索ができる。なお、選定された300社とは別に、「はばたく商店街30選」も同時収録されている。

■(株)ユーメディア

自社主催のプロモーション事業に注力
受託依存からの脱却「働き方を誇れる」企業へ

同社は、1960年に印刷会社として創業した。印刷業界の需要縮小の中、新事業進出のため、自社主催イベントや観光事業開発、IT戦略・Web部門拡大を図るメディアプロモーション事業を展開。主催するプロモーション事業を増加させることで受託業務依存からの脱却を実現した。主催事業を推進するために、多様な経験や知見を持つ社員が必要であったため、育児・介護などの「時間制約のある社員」の戦力化を目標に掲げ、全社員で取り組む「働き方改革」を促進。「ワークイノベーション委員会」の設置やリモートワークの導入などを通じて、「働き方を誇れる成長企業NO.1」を目指している。

240線から340線、FMスクリーンの
高画質高精細印刷を標準稼働中!!
価格は175線と同額

データから印刷・製本・発送まで
自社一貫体制でお引き受けします

大日印刷株式会社

☎0564-62-8461(代)
FAX 0564-62-8463

大日印刷

検索



中小企業庁では、選定企業300社を収録した冊子を作成。また、HPページにも掲載されており検索ができる。

全社員参加型で進められる人材育成教育。毎月1回開催される勉強会「U-LaB」では、社員が講師となり、教える側も教わる側もそれぞれの立場で学ぶことを目的としている。また、「経営活性化部会」の組織や、個人の基礎力を高めるため、UCDA認定、印刷技能士、ウェブ解析士などの資格取得を推奨、受講料の補助も行なっている。

- 所在地:宮城県仙台市若林区土樋103
- TEL / FAX:022-224-5151 / 022-714-8313
- URL:<https://www.u-media.jp/>
- 代表者:今野均代表取締役社長
- 設立:1960年
- 資本金:6,000万円
- 従業員数:135人

■進和ラベル印刷(株)

山形県から世界レベルの技術で
ブランド企業を目指す“喜働集団”

同社は、農産物や食品加工品・家庭用品・工業製品・化粧品・医薬品など、多岐にわたる分野で使われるラベルの製造・販売をしている企業。製品はシール・ラベル印刷に特化しており、世界が認める印刷技術とデザイン力を有する。その技術力の高さは様々な受賞歴が証明している。全日本シール印刷



協同組合連合会主催の「第27回シール・ラベルコンテスト」では最高賞である「経済産業大臣賞」を受賞。その他、「世界ラベルコンテスト」でも最高賞の「Best of the Best」を2度受賞している。

デザインは6名の社員で構成された「デザイン制作室」が担う。顧客の要望に柔軟に対応する秘訣は、幅広い年齢層の知恵を結集。定年後も65歳まで再雇用の形で働くことを可能にした結果、60歳以上の社員が技術の継承を行なうほか人手不足の役割を果たしている。これまで培ってきたノウハウと若い感性の融合が品質と独自性を支えている。

- 所在地:山形県上市市蔵王の森10
- TEL / FAX:023-672-7577/023-673-2019
- URL:<https://shinwalabel.co.jp/>
- 代表者:晋道純一代表取締役社長
- 設立:1987年
- 資本金:3,000万円
- 従業員数:62人

■(株)ミヤギパッケージ

付加価値の高いオリジナル自社商品を開発
海外販路の開拓並びに販売体制の構築

1952年創業し60年以上にわたって、沖縄の包装、梱包資材を手がけてきたパッケージ会社であり、お客様のニーズに応える環境整備のため、2007年には本社工場機能を移転。箱だけに限定せず、包装関連全般を手掛け、企画やプロデュースまでのすべてをトータルプロデュースし、顧客の商品の個性を最大限に引き出すデザインと機能性で段ボールやシール、ポスターなど多くの商品を取り扱っている。

強みであるデザイン性やユニークなパッケージ技術力と、ものづくり補助金で導入した3D加飾加工機。さらには、外注を頼りにしていた箔押しやニス盛、金箔加工などを内製化。より細やかなデザインを高付加価値商品として提供することを可能にしている。

- 所在地:沖縄県豊見城市豊崎3-30
- TEL / FAX:098-851-1185 / 098-851-2185
- URL:<http://mp1185.jp/>
- 代表者:宮城通治代表取締役
- 設立:1972年
- 資本金:3,623千円
- 従業員数:98人

■(株)大川印刷

印刷事業に「環境」という付加価値
SDGsを経営に取り入れた先進企業

1881年創業の老舗印刷メーカー。国連が採択したSDGs(持続可能な開発目標)に着目、印刷業を通じた社会課題解決に注力。自社の印刷事業で年間使用する電気・水道・ガス・車

両燃料によって排出されるCO2を、政府のJ-クレジットを活用しゼロ化した「ゼロカーボンプリント」、違法伐採による材料の不 사용을第三者認証しているFSC森林認証紙や、ノンVOCインキ(石油系溶剤0%)の使用など、環境負荷低減に特化した「環境印刷」を行なうことで、高付加価値・適正価格のサービスを提供。ESGに関心の高い外資系企業などとの新規受注獲得を実現している。

同社では、社内外にSDGsへの関心を高める取り組みを行っており、プロジェクトチームを立ち上げるなど、内部組織力強化を図っている。また、社外では「SDGsを忘れないメモ帳」を開発するなど、認知度拡大を目指している。

- 所在地:神奈川県横浜市戸塚区上矢部町2053
- TEL / FAX:045-812-1131 / 045-812-1135
- URL:<https://www.ohkawa-inc.co.jp/>
- 代表者:大川哲郎代表取締役社長
- 設立:1881年
- 資本金:2,000万円
- 従業員数:41人

■(株)ウエマツ

印刷業界のファンドリーとして成長
厳しい経営環境下における勇気ある挑戦企業

昭和33年創業の枚葉オフセット印刷業者。パンフレット・カタログなど一般商業印刷を得意とする印刷受託専門業者として、高品質、短納期、多ロット対応可能な生産能力を有し、取引先の大半が大手・中堅の同業者であるなど、業界内で抜群の知名度を有する。積極的に最新鋭の設備投資を実施し戸田工場は第12回印刷産業環境優良工場表彰にて経済産業大臣賞を受賞。「印刷業界のファンドリー」として、事業拡大を進めている。

同社の人材活用における特徴としては、全員参加型経営が浸透していることである。毎年1泊2日で開催されるリーダーシップミーティング(全員参加型の会議)のほか、各部署で毎月・毎週ごとに会議が設定されている。こうしたことで、社員全員が経営意識を持ち、全社として生産性向上を目指す意思統一が図られている。

- 所在地:東京都豊島区南長崎3-34-13
- TEL / FAX:03-3953-1101 / 03-3953-0557
- URL:<http://www.uematsu-p.com/>
- 代表者:福田浩志代表取締役
- 設立:1958年
- 資本金:10,000万円
- 従業員数:160人

□愛印工組MUDセミナーより

視覚情報の ユニバーサルデザイン

～CSR活動と顧客満足の実現の一助として～

愛印工組では、6月10日メディアージュ愛知において、毎年恒例となった「MUDセミナー」を、愛知県、(公財)あいち産業振興機構の後援を得て開催した。講師は、MUD協会の理事を務める鳥原久資氏(愛印工組副理事長、㈱マルワ社長)が務めた。鳥原講師は、「視覚情報のユニバーサルデザイン～CSR活動と顧客満足度の実現の一助として～」をテーマに、メディア・ユニバーサルデザイン(MUD)の基本的なことに触れながら、「より多くの人に正しく情報を伝えるためには、読みやすく／見やすく／使いやすい、ことが必要である」とMUDのポイントを説いた。

■等しく情報を伝えるために

人は情報の87%を視覚から得ているといわれており、身の回りにはテレビや新聞、雑誌や書籍、インターネットやサイン(看板・掲示物)など、目で見えるメディアがあふれている。そんな多様化する情報社会では、伝えたい情報、伝えるべき情報が伝わらない場合がある。例えば、印刷メディアに対しての不満を挙げると、「①文字が小さい、②英数字が紛らわしい、③画数の多い漢字が潰れている、④文字・行間が詰まり過ぎ、⑤濁音と半濁音の区別が付かない、⑥背景と文字が同色系で読みにくい、⑦色が多すぎる」などがある。

また、情報受信にハンディキャップのある人が約3.5人に1人存在する。こうした人たち、例えば、高齢者・弱視者は、白内障や低視力により文字や色がぼやける。肢体不自由者は、情報を得る方法が少なく制限されている。視覚障害者は、区別が付きにくい赤と緑や青と紫などの配色がある。子供・外国人は、難しい漢字や表現では理解できないなど、ハンディキャップによる情報への関心の違いが分かる。

より伝わりやすくするためにはどうすればいいのか、その一例を挙げると、「①文字は小さくても潰れにくいUD書体を使用、②隣り合う色が区別しやすいよう罫線で区切る、③判別しやすくするため色に明度差をつける、④グラフ作成の場合凡例を避けグラフに直接文字を書き込む、⑤色名を表記することでコミュニケーションが取りやすくなる」などを挙げる。いずれにしても、より多くの人に正しく、理解しやすい情報を伝えるためには、「読みやすく」、「見やすく」、「使いやすい」を念頭に置き、印刷物を作成する必要がある。それがメディア・ユニバーサルデザイン(MUD)になる。

■MUDの5原則



ユニバーサルデザインの考え方を取り入れ、「具体化するに配慮すべき点」を挙げたのがメディア・ユニバーサルデザイン5原則になる。

(1) 伝わる<Accessibility(アクセシビリティ)接近容易性>見えない、読めない、手に入らないなど、情報の入手を妨げる要因を取り除く工夫をする。

(2) 便利<Usability(ユーザビリティ)使いやすさ>より快適に、より便利に、無駄なく使えるような、使いやすさの工夫をする。

(3) わかりやすい<Literacy(リテラシー)意味の伝わりやすさ>内容がより理解しやすいものとなるよう言語、表現、構成による工夫をする。

(4) かつこよさ<Design(デザイン)情緒に訴える>感覚・感性に訴え、行動を誘発するデザインによる工夫をする。

(5) やさしさ<Sustainability(サステナビリティ)環境対応と持続可能性>人にやさしい製品は、環境にもやさしくなければ、本質的に人にやさしくはない。印刷物や包材の環境対応もMUDには必要。

■MUD教育検定

「障害者差別解消法」という法律ができ、顧客サービスをともなう所、例えば、行政関係の窓口業務で、案内板が見つらいとか内容がよくわからないなど、利用者が不自由と感じたらは正しくてはならなくなった。また、MUDといえば、色を主体として文字などが先行してきたが、来年は東京オリンピック・パラリンピックがあり、25年には大阪万博、その翌年にはアジア大会が開催される。国際化の波の中で、高齢者と色弱者に向けての動きが顕著になって来ている。

こうした中で関心を高めているのが、MUD教育検定(MUD協会主催)である。ただ、印刷業界ではなくサービス業界などからの受験生が多い。資格を持つことは自分自身の武器として役に立つので、印刷界からの受験が多くなることを期待したい。ちなみに、平成30年12月現在の合格者数を示した。MUD教育検定3級合格者数3,871名(内愛知県合格者数349名)、MUD教育検定2級合格者数160名(内愛知県合格者数12名)である。 ※NPO法人MUD協会事務局

<http://www.media-ud.org>

(上段写真はMUDセミナー会場。立っているのは、講師を務めた鳥原久資MUD協会理事/愛印工組副理事長/㈱マルワ社長)

■「永年勤続優良従業員」募集案内

申請締め切りは9月5日(木)

既にご案内のように、今年度も「永年勤続優良従業員」表彰を実施します。申し込みを希望される事業所は、申請締め切りが9月5日となっていますのでお急ぎください。募集案内を改めてお知らせ致します。

◆表彰日:令和元年11月1日(金)

◆表彰場所:各事業所

【表彰の種類と被表彰者の資格】

①全日本印刷工業組合連合会会長・愛知県印刷工業組合理事長表彰(10年以上勤続優良従業員)⇒同一事業所に10年以上勤務し、事業主が優良と認めてこれを申請した者。

②愛知県知事表彰(15年以上勤続優良従業員)⇒愛知県内の同一事業所に15年以上勤務し、この間優良従業員として前項(10年以上)の表彰を受けたもので、事業主が推薦書を提出し県知事の審査に合格したものの。

◆事業主負担金(税込)

①会長及び理事長表彰(10年以上表彰者):1人につき11,500円。

②県知事表彰(15年以上表彰者):1人につき13,000円。

◆被表彰者には、賞状並びに記念品の祝菓子が贈られます。

◆申し込み方法

①会長及び理事長表彰、②県知事表彰の申し込みは、専用の申し込み用紙に必要事項を記入・捺印の上、事務局に提出してください(①はFAXでの申し込みが可能ですが、②は郵送になりますのでご注意ください)。申し込み用紙は、組合ホームページからダウンロードできます。①、②共に9月5日(木)までに負担金を納入の上申し込んでください。

※その他詳細はTEL052-962-5771まで。

■中小企業が中小企業施策を利用する際の手引書

「中小企業施策利用ガイドブック」

中小企業庁から、経営改善・資金繰り支援策・震災対策など、中小企業者が施策を利用するための手引書として利用で



きる各種制度の概要を紹介した2019年度「中小企業施策利用ガイドブック」が刊行された。

□ガイドブックの構成

【中小企業支援施策】

①経営サポート:技術力の強化/創業・ベンチャー支援/経営革新支援/新たな事業活動支援/知的財産支援/再生支援/雇用・人材支援/海外展開支援/取引・官公需支援/経営安定支援/小規模企業支援

②金融サポート:融資制度/保証制度

③財務サポート:税制/会計/事業承継

④商業・地域サポート:商業・物流支援

⑤分野別サポート

⑥相談・情報提供:中小企業支援センター

【問い合わせ一覧】

官公庁・支援団体など

■ガイドブックの入手方法

ガイドブックは、中小企業庁HPページからダウンロードできる。また、印刷版は、各地域の経済産業省、商工会、商工会議所、中小企業団体中央会、中小企業支援センターなどで入手ができる。

中小企業庁HPページ

<https://www.chusho.meti.go.jp/pamfiet/g-book/2019/index.html>

中小企業庁広報相談室 TEL03-3501-1709

特色データ管理システム(13000色以上)を構築し
特色印刷No.1を目指しています
薄紙加工機6台に加え、最新大型薄紙加工機を名古屋工場に導入!
さらにUVインクジェット印刷で、小ロット名入れ印刷も可能!

OFFSET PRINTING
組合印刷

UVインクジェット印刷
薄紙への小ロット名入れカラー印刷

POST CARD・ENVELOPE
名刺・封筒・DM・省振替簿・インクジェット

SEAL・薄紙加工
シール印刷・薄紙印刷加工

印刷ステーション
DAIKYU
〒460-0007 名古屋市中区新栄1-14-21
株式会社 太急 TEL 052-262-0555 FAX 052-262-1043
関連会社/ 関太急・関山川

盛功社の創業は1889年。2018年に130周年を迎えました。
3世紀にわたるご愛顧をいしずえとして
新たな未来へ羽ばたきます。

●印刷機械 ●製版機械 ●製本機械
●DTP関連機 ●印刷諸材料

130th Anniversary
おかげさまで130周年

株式会社 盛功社
〒461-0014 名古屋市中区榑木町3丁目17番地
TEL 052-932-5611 FAX 052-931-0280
<http://seikosha-net.jp/>

「第10回ポスターグランプリ」作品募集

作品募集：テーマ「輪」

応募期間：8月20日(火)～9月7日(土)

応募部門：一般／大学・専門学校／高等学校の3部門

愛知・岐阜・三重・石川・富山5県の印刷工業組合及び愛知県印刷協同組合が主催する「第10回ポスターグランプリ」の締切がまじかに迫ってきました。10回の節目だけに昨年を上回る応募を期待したいものです。応募要項を再度ご案内します。

▼対象／ポスター

▼テーマ／「輪」・幅広いジャンル、豊かな発想と斬新な表現のポスター（ビジュアル・キャッチコピーを含む作品）を募集

▼応募期間／8月20日(火)～9月7日(土)12時必着。

▼応募資格／愛知県、岐阜県、三重県、石川県、富山県在住、または同5県内の会社、大学（大学院、短期大学を含む）、専門学校、高等学校（高等専門学校を含む）に在籍している個人。

▼応募部門／一般の部（プロ・アマ不問）、大学生・専門学校生の部、高校生の部。

▼応募作品／未発表の作品、1人1点、印刷可能なものに限る（電磁媒体CG又は手描きによるもの、色彩表現は自由）。

▼サイズ／・一般の部…B1判、縦型、発泡パネル貼仕立て、・大学生・専門学校生の部…B1判、縦型、発泡パネル貼仕立て、・高校生の部…B2判、縦型、発泡パネル貼仕立て（発泡パネルの厚さは15mm以内。作品が剥がれないよう、しっかり貼付けて提出）。

▼出品料／無料。

▼提出／応募用紙に勤務先名または所属学校名、氏名、作品のコンセプト等、必要事項を記入し、応募用紙に記載の案内に従って提出（送付、持込みのいずれでも可）。

【授与賞と副賞】

○グランプリ・中部経済産業局長賞／1名（賞金10万円）、○優秀賞【一般の部】愛知県知事賞、岐阜県知事賞／2名（賞金2万円）、[大学生・専門学校生の部]三重県知事賞、石川県知事賞／2名（賞金2万円）、[高校生の部]中日新聞社賞、全日本印刷工業組合連合会会長賞／2名（賞金2万円）、○特別賞：名古屋市長賞、愛知県教育委員会賞、岐阜県教育委員会賞、三重県教育委員会賞、名古屋市教育委員会賞、中部デザイン団体協議会会長賞、中部広告制作協会賞、愛知県印刷工業組合理事



長賞、岐阜県印刷工業組合理事長賞、三重県印刷工業組合理事長賞、石川県印刷工業組合理事長賞、富山県印刷工業組合理事長賞／各1名（ギフトカード5千円分）、○協賛会社賞／若干名（ギフトカード5千円分）。

●審査日／9月中旬

●入賞・入選発表／9月末日

編集だより

■本誌がお手元に届くころは、お盆休みが始まる頃かと思えます。暦の都合で9連休になる会社もあるようです。先般の10連休に続いての大型連休ですので、十分な骨休めになればいいのですが、皆さんのところはいかがですか…。ただ、8月半ばといえば猛暑の最中だと思えますので、くれぐれも熱中症には気を付けていただきたいものです。■印刷営業士の資格取得のための印刷営業講座と印刷営業技能審査認定試験の日程が発表されました。また、これとは別に国家認定になる技能士（後期はDTP）の認定試験も始まります。何れの資格も取得すれば営業士、技能士を名乗る

ことができ、生涯にわたっての大きな財産となります。また、会社にとっても大きなプラスであることは間違いありません。是非、チャレンジしてみてください。今月号では紹介できませんでしたので次号に詳報します。

訃報

名古屋紙商事㈱（鬼頭正二郎社長）の創業者であり特別顧問の鬼頭正男氏は、5月22日93歳の長寿を全うされ逝去された。故人を「偲ぶ会」が7月16日午前11時30分より、名古屋マリオットアソシアホテル16階「タワーズボールルーム」において行なわれ、多くの人が献花に訪れ冥福を祈った。



あいの印刷

No.573

令和元年8月10日発行

発行人 細井俊男
編集 組織・共済委員会
発行所 愛知県印刷工業組合
〒461-0001 名古屋市東区泉一丁目20番12号
メディアージュ愛知1階
TEL (052) 962-5771
FAX (052) 951-0569

◆ホームページアドレス <http://www.ai-in-ko.or.jp/>
◆E-mailアドレス jimukyoku@ai-in-ko.or.jp

美しさ・誠実・挑戦

お客様に企画、デザインを通し、
真の感動を提供出来る様、
常に進化し続ける企業を目指します。

グラフィックデザイン	Graphic design
ウェブデザイン	Web design
セールスプロモーションデザイン	Sales promotion design
エディトリアルデザイン	Editorial design
アドバタイジングデザイン	Advertising design
オンデマンドプリンティング	On-demand printing

adWISE

株式会社 アドワイズ

〒460-0002 名古屋市中区丸の内3-15-15 ダイアパレス丸の内201

TEL 052-212-5182 FAX 052-212-5183 E-mail: ad-wise@ad-wise.biz http://www.ad-wise.biz/

heart

人から人へ心を伝える ハート紙製品



グリーン購入法適合封筒・環境配慮型製品
名刺・封筒・はがき・カード・賞状・カレンダー

デザイン作成・企画提案から印刷・納品までトータルにサポート
官公庁・企業様、ユーザー様など幅広くご利用いただいております

ハート株式会社

URL : www.heart-group.co.jp



インバウンドを
ビジネスチャンスにつなげる。



モリサワは、日本障がい者スポーツ協会を応援しています

インバウンド対応情報発信ツール

MC Catalog+

エムシー カタログ プラス

チラシ、パンフレットなど、あらゆる
コンテンツを多言語化し、スマート
フォンやタブレット端末に向けて、
配信するクラウドサービス。

詳しくは

www.morisawa.co.jp

●記載されている会社名・商品名はそれぞれ各社の登録商標または商標です。
●本仕様は、予告なく変更する場合があります。

Axuas

私たちは、地球に優しい商品とサービスの提供を通して、
心豊かな社会の実現に貢献します。

次の世代に豊かな地球を残し、
皆様の幸せに貢献する企業でありたい。



紙・包材・LEDの
株式会社

アクアス

本社所在地 〒460-0008 名古屋市中区栄一丁目25番35号

紙営業本部 TEL(052)220-5511 IP電話(050)3533-5511 FAX(052)220-5522

Home Page <http://www.axuas.jp> E-mail info@axuas.jp



キングは 印刷会社の パートナー

詳しくは



Printing
Supply

封筒用紙・名刺用紙・
ハガキ・包装用資材

Printing
Promotion

カレンダー印刷・名入販促物
(クリアホルダー、ふせん等)

Printing
Support

業務支援アプリ・
営業支援アプリ

Printing
System

名刺作成システム
(ソフト、プリンター、裁断機)



株式会社キングコーポレーション

本社 / 〒460-0002 愛知県名古屋市中区丸の内3丁目7番23号 TEL 052-961-7661 (代)

全国15拠点を
サポート

本社 / 名古屋本店 / 東京支店 / 大阪支店 / 福岡支店 /
仙台支店 / 横浜支店 / 静岡支店 / 金沢支店 / 神戸支店 /
広島支店 / 鹿児島支店 / 札幌営業所 / 青森営業所 / 浜松営業所

NEXT WAVE

新たな挑戦

～変わらないために
変わり続ける～

KOBUNDO

KBD NEW PRODUCTS

PrintDoors2020
(第56回新春機材展) 開催!
2020年1月22日(水)・23日(木)
名古屋市中小企業振興会館 [吹上ホール]

KBD きらり

NEW

UV スポットニスとの融合で高品質で立体的な付加価値ある印刷物を!



KBD きらりは、小ロットでもロングランにも適したデジタルコーティングシステム。箔押しも標準装備しており、スポットニスとの融合で高品質で立体的な仕上がりを実現! コロナ処理を標準装備しており、様々なデジタル印刷物にも対応。デジタルコーティングなので版が必要なく、様々な印刷データを短時間でセットでき、納期短縮も可能となりました。

デジタル制御高精度シートカッター KBD Value Sheeter I400

KBDバリューシーター1400は、最新の先端技術を採用し、高速で安定した断裁を可能にするシートカッターです。



KBD マルチ・テーピング・システム

NEW

両面テープ貼りに特化した製品で、セット時間が短く省スペースでの設置も可能!

●最大4ヘッドまで搭載可能センサーを通して、正確な位置にテープを貼ります。

●セミオートフィーダーを搭載しており、最大76m/分の速度で生産可能!

●558mm幅に最大4セットまでのテープヘッドが搭載可能!



フィニッシングソリューション KBD MOLLシステム

FOLDER/GLUER/INSERTING/TAPING

KBD MOLLシステムは、製袋機、グルーシステム、紙折機の機能を統合して、パッケージ等の型紙を自動で製造するユニットシステムです。



印刷機材の総合商社

株式会社 光文堂

本店 / 〒460-0022 名古屋市中区金山二丁目15番18号 TEL 052(331)4111(代)

支社 / 東京 支店 / 東北・静岡・大阪・金沢・北九州・福岡 営業所 / 北海道・青森
山形・千葉・山梨・沼津・浜松・岐阜・福井・富山・京都・山口・大分・熊本・沖縄